

指定候補地の概要（大山上池・下池）

1. 名称 大山上池・下池

2. 所在地 山形県鶴岡市

3. 面積 39ha

4. 面積内訳

形態別	水面	39ha
所有者別	公有水面	39ha

5. 法令による規制

全域が国指定大山上池・下池鳥獣保護区大山上池・下池特別保護地区（存続期間 H20.10.21～H29.10.31）

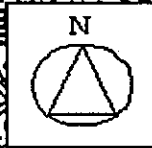
6. 概要及び湿地の国際的重要性の評価

大山上池・下池は、山形県鶴岡市の西部に位置し、高館山自然休養林に隣接する農業用灌漑ため池として維持管理されている湖沼の水面部分である。水面にはハスが広範囲に繁茂しており、その他にも環境省レッドリストに掲載されている準絶滅危惧のチョウジソウをはじめとしてヒシ、ヌマトラノオ、フトイ等の多様な植生を有している。

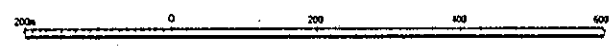
このような自然環境を反映して、大山上池・下池は、マガモ、オナガガモ、環境省レッドリストに掲載されている絶滅危惧Ⅱ類で天然記念物のヒシクイ、同じく天然記念物で準絶滅危惧種のマガン等のガンカモ類をはじめとする多くの渡り鳥の全国的に重要な越冬地となっている。特に、マガモは毎年2万羽から3万羽、コハクチョウは毎年千羽から3千羽の飛来が確認されており、東アジア地域個体群の個体数の1%以上を支える。また、天然記念物で絶滅危惧ⅠB類のオジロワシ、同じく天然記念物で絶滅危惧Ⅱ類のオオワシ等の猛禽類の生息も確認されており、合計で177種の鳥類の生息が確認されている。なお、ガンカモ類の重要な渡来地であることから、「日本の重要湿地500」にも選定されている。

7. 位置図 別紙のとおり

ラムサール条約湿地区域図 大山上池・下池(案)



1 : 10, 000



凡例	
	ラムサール条約湿地

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。
(承認番号) 平20東規第44号